

## 大川村におけるコミュニティ・スクールのとらえ方

■学校運営協議会の場で大川村民の意見を取り入れ、学校運営を行う。

→方針や基本的な方向性は教育委員会が示す

■将来の大川村を担う人材育成が、大川小・中学校の存在意義である。

○学校と地域が一体となり、子どもの成長を村全体で見守る環境をつくる。

○次代を担う村のリーダーとなる子どもたちの育成。

13

## 大川村コミュニティ・スクールが目指すこと

■コミュニティ・スクールを基盤とした、小・中一貫教育の充実。

■地域で将来の人材を育てる教育環境づくりを進める。

→地域に開かれ、地域に支えられる学校づくり

■地域および学校が教育力を相互に高める。

→豊かな学びと育ちの創造

大川村の特色を活かし、大川村に適した学校を目指す

14

## 学校の概要



15

## 大川小・中学校の現状

■ 全校32名（小学生16名，中学生16名）

山村留学生 12名（小2，中10）

■ 6学級編成

小学校 3学級（完全複式）

中学校 3学級

■ 教職員 19名（小7，中12）

+ 用務員・支援員・ALT

16



# 本校の特色 - 1 -

## ■施設一体型の小中一貫校

体制は1つ, 行事も合同

中学校教員が小学校の授業を担当

9年間で育てる教育を目指す

## ■大川村唯一の学校

地域の期待を一身に集める

「将来の大川村を担う人材を育てて欲しい。」

※大川小・中学校の存在意義

村の方針としてコミュニティ・スクールを目指す

17

# 本校の特色 - 2 -

## ■校長 黒瀬 忠行

・文部科学省委嘱コミュニティ・スクール推進員

・各地から要請があり

18